



# 図書だより

令和3年10月  
八尾高校図書館  
21H 加藤・高松



## 絵本～picture book～

今回のテーマは「絵本」です！皆さんは最近絵本を読みましたか？小説なども面白いですが、たまに読んでみると童心にかえることができ、ほっとします！この後テストも始まりますね。勉強・課題に追われる毎日の疲れを、ゆるっとしたお話で吹き飛ばしてみませんか！！読んでみてねー！（T）

「おまえうまそうだな」作・絵 宮西 達也 ポプラ社

これは大きなティラノサウルスと小さなアンキロサウルスの、ちょっとした勘違いから始まるお話です。おなかをすかせたティラノサウルスが「おまえうまそうだな」とアンキロサウルスを食べようとしてきました。しかし、勘違いしたアンキロサウルスは自分の名前が「ウマソウ」だと、さらにティラノサウルスがお父さんだと思ってしまう。「ウマソウ」は「お父さんみたいになりたい」と強くなる特訓をしていきました。本当の親子のように過ごしている2匹を見ていると、ほっこりするような面白いような気持ちになります。



「しりたがりやのこぶたくん」

ジーン・バン・ルーワン作／アーノルド・ローベル絵／三木卓訳  
童話館出版

これは、主人公の「こぶたくん」の家での、日常のお話が描かれている絵本です。私は特に、3章目にある「ききたいこと」という話が好きです。こぶたくんはお父さんと出かけた雪の中の散歩の途中、次々に沸き起こる疑問をお父さんに質問します。子供らしい日常での疑問をお父さんが真剣に答えている様子がとても素敵です。お父さんからこぶたくんにも一つ質問をします。「どうしてそんなにいろいろききたがるんだい？」その質問にこぶたくんがどう答えたのかわかりますか？自分もこんなやりとりを親としていたのかもと、小さいころが懐かしく思える本です。





### 「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」

くさばよしみ編・中川学絵

汐文社



この本は、ノンフィクションです。この大統領はウルグアイという南米の国の大統領です。大統領というと、秘書付きの公邸に住んでいるイメージですが、この方は公邸には住まず、町から離れた農場で奥さんと暮らしています。しかも、給料の大半を貧しい人の為に寄付しています。この生活も、大統領として皆さんに考えを発信して納得してもらう為にやっていることだそうです。この本にはその大統領の、国際会議でのスピーチがすべて載っています。私たちが平等に生きるために考えるべきことが書いてあり、とても考えさせられるお話です。

### 「どうぞのいす」

香山美子作・柿本幸造絵

ひさかたチャイルド

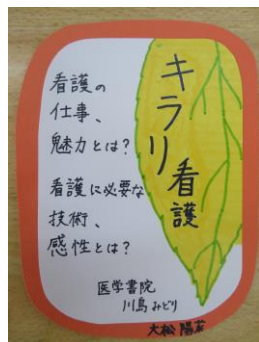
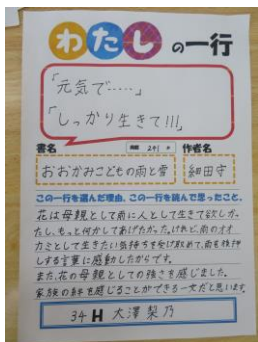
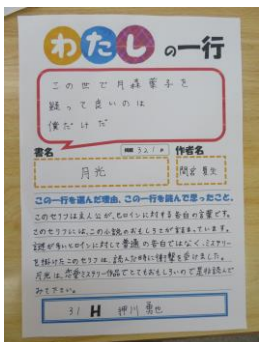
とてもかわいい絵本です。6種類の動物が登場しますが、どの動物からでも癒やしをもらえます。表紙を見てわかるとおり、ウサギがいすを作るところから始まります。このいすはただのいすではありません。ウサギが造ったウサギのしっぽがついたいすです。かわいい工夫がされていますよね。そしてウサギがこのいすを、どうぞのいすとして広場に置くのです。そのあとの展開がなんともほのぼのします。癒やされたい方は是非読んでください。



# TAKANAKI WEEK

10月8日(金) ~ 10月19日(火)

図書館前にて「わたしの一行」「POP」展示します！



ぜひご覧ください！